

この記事・写真は岩手日報社の許諾を得て転載しています。

一関一が11年連続V

県高校生 かるた大会

県高校生かるた選手権大会(県高校文化連盟小倉百人一首かるた専門部主催)は14日、盛岡市内丸の桜山神社で団体戦を行い、全員3年生の一関一A(西山望美さん、対馬美有さん、首藤沙英さん)が優勝した。同校の優勝は11年連続。

8チームが出場。準優勝は一関一β、3位は一関一αだった。同校は7月に大津市で開かれる全国高校小倉百人一首かるた選手権大会に出場する。15日は個人戦を行い、34人が参加する。

アニメで興味 チームを結成

初出場の花北青雲

花巻市の花北青雲高は14日に盛岡市で開かれた県高校生かるた選手権大会に初

出場した。メンバーが所属する文芸部で百人一首を部誌の題材にしたことや百人一首競技を描いたマンガ原作のアニメで興味を持ち、今春チームを結成。競技人口が頭打ちの中、大会唯一の初陣校への期待は大きい。



初めての大会に臨む花北青雲高チーム(右側)

く、生徒たちは自らの技を磨こうと意気込んでいる。メンバーは全員3年生で後藤玲子さん、大江龍さん、田面山桜さん、高橋百香さん、阿部凌士さんの5人。最初は「カルタ遊び」のようにはじめたが、札をきれいに取れた時の爽快感に夢中になり、3月ごろから本格

的に練習を始めた。阿部さんは「チームを新設し大会に出場する姿がアニメとも重なり、一層やる気になった」と振り返る。

今大会は1回戦で勝利したが、11連覇した一関一に敗れるなど8チーム中6位。それでも「相手が動く前に札を取れた」(後藤さん)、「強い相手に火を付けられて全力が出た」(田面山さん)と手応えをつかんだ。

大会は今後もあり、進路や本来の文芸部活動など多忙な1年になる。

メンバーは「練習場所や時間は限られるが、勉強とも両立して今大会の結果を上回れるようレベルアップしたい」と向上心をみせる。

岩手日報社は「川徳創業150周年記念」を26日から盛岡市のカワ